

# チャレンジテスト(3年生)対策 英作文編

H29 年度 **6**

(1) ~ (3)のそれぞれの絵を見て、指示通りに英文を完成させなさい。なお、英文は必ず、主語と動詞のある文とすること。

- (1) 先生（本を持っている人）は何をしていますか。その内容を表す英文を1文で書きなさい。ただし、The teacher is に続けて、4語以上で書くこと。

The teacher is \_\_\_\_\_.



- (2) あなたは、駅前で、外国からの観光客が道に迷っているのを見かけました。手助けをしたいのですが、“Excuse me.” の後に何と言いますか。その内容を表す英文を1文で書きなさい。ただし、4語以上の英文で書くこと。

Excuse me. \_\_\_\_\_.



- (3) 地域の体育祭を伝えるポスターがあります。その内容を表す英文を1文で書きなさい。  
ただし、9語以上の英文で書くこと。
- 



H30 年度 7

(1)～(3)のそれぞれの絵を見て、指示通りに英文を完成させなさい。なお、コンマやピリオドなどの記号は語数に含めないこと。

- (1) この女の子は今、何をしているところですか。下線部に4語以上の英文を入れて、その内容を表す英文を完成させなさい。

Now she \_\_\_\_\_.



- (2) ①、②、③の順で2人の会話が成り立つように、①の吹き出しの中の下線部に5語以上の英語を入れて、英文を完成させなさい。なお、入れる英語は必ず主語と動詞を含むこと。

\_\_\_\_\_?

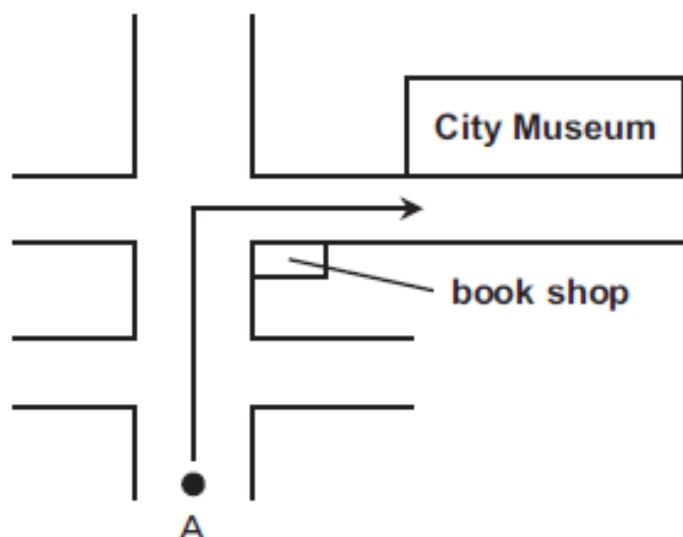


- (3) あなたは次の地図のA地点で外国からの観光客に出会い、市立博物館 (City Museum)までの道案内をすることになりました。Goに続けて、下線部に8語以上の英語を入れ、矢印に沿った道順を指示する英文を完成させなさい。なお、その指示する英文のあとに、You will see it on your left.が続きます。

\* left : 左

Go \_\_\_\_\_.

You will see it on your left.



次の(1)～(3)のそれぞれ会話文と絵を参考に、その内容と合うように下線部に指示された語数の英語を入れ、英文を完成させなさい。

(1)

A: We had a birthday party for Jane yesterday.

B: Good!

What was the present for her from you?

A: I \_\_\_\_\_ 4語 \_\_\_\_\_ her.

I \_\_\_\_\_ her.



(2)

A: How will the weather be on Saturday?

If \_\_\_\_\_ 3語 \_\_\_\_\_ on Saturday, let's go cycling.

B: OK! I like it.

\* weather: 天気      cycling: サイクリング

If \_\_\_\_\_ on Saturday,  
let's go cycling.

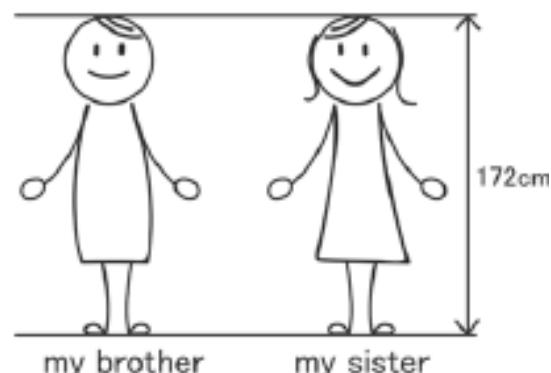


(3)

A: Which is taller, your brother or your sister?

B: Well, my brother is \_\_\_\_\_ 3語 \_\_\_\_\_ my sister. They are the same height.

\* same height: 同じ身長



Well, my brother is \_\_\_\_\_ my sister.

## 角卒答・角卒言兎

H29年度 模範解答（大阪府のホームページより抜粋）

### (1) reading a book to the children / asking a question to the children

問題が The teacher is と be 動詞が付いていることから現在進行形を使う。

reading / asking を使うのがいいかな。the children は the students / her students でも大丈夫。また、asking a question も some questions など複数形を使ってOK。

☆ 『クセがすごい』解答例（遊び程度に見てください。参考にしないほうが無難です。）

- ・男の子を当てている → picking the boy to answer a question
- ・授業の前に出席をとっている → taking attendance before the class
- ・一番左の男の子が足をあげている？なんて考えて、teaching the children how to behave 「行儀を教えている」や teaching manners to the students 「マナーを教えてる」

試験の時の答えは無難に。  
でも英語力をつけるためにいろんな  
表現に触れるのは大切なんだよ♪

### (2) Can I help you / Where do you want to go



Can I help you? / May I help you? 「どうなさいました。」「何かお困りですか。」は重要表現なので覚えておこう。店での会話なら「いらっしゃいませ。」や「お伺いしましょうか」みたいな感じ。

Can を使った表現はフレンドリーな軽さを持った表現。

Where do you want to go? は「どこに行きたいんですか」という表現。

want = would like to を使って Where would you like to go? は丁寧な表現になる。

☆ 真面目に解答例（是非、参考にしてください。）

- ・何かお困りですか。 → Do you need any help? 【道案内以外でも結構使える】
- ・道、分かりますか。 → Do you know where you're going?
- ・道案内しましょうか。 → Can I help you find your way?



### (3) They have Sports Festival at Midori School on July 4. There is a sports festival at Midori School on July 4

1つ目は主語が We でも大丈夫。「あります」に have を使えるかがポイントだね。

2つ目は There is / are 構文を使った表現。There is / are 構文では直後に置く名詞には基本的に the を付けない、固有名詞を置かない → a sports festival

日付や曜日など1日単位を表す語の前には前置詞 on を使うのが基本。

(1) is walking her dog

「犬を散歩する」の基本的な言い方が walk my dog となる。今回は主語が She なので her dog に変えるのと、be 動詞が付いていることから現在進行形を使うのがポイント。  
walking the dog でも大丈夫。taking the dog for a walk なんて言い方もある。

(2) Could(Will) you open the door / Could(Will) you help me, please

Can you ~? は依頼の表現。 Will you ~? を使ってもOK。

Could you / Would you ~? は「～していただけませんか。」という丁寧な依頼の表現。

5語以上の制限があるので、Please open the door. / Open the door, please. はダメ。

H29 年度に比べると、答えが限定されるような出題の仕方になったぞ！



(3) straight and turn right at the book shop

Go straight. 「まっすぐ進んで」 turn right 「右に曲がる」 turn left 「左に曲がる」は道案内ではよく使う表現。 at the book shop は at the second corner でも大丈夫。

☆ 道案内でよく使う表現

Go straight for two blocks. 2ブロックまっすぐ行ってください。

Go straight until you get to the book shop. 本屋までまっすぐ行ってください。

Go along this street. この通りに沿って進んでください。

Walk straight on this street. この道をまっすぐ歩いてください。

Go past the convenience store. コンビニを通り過ぎてください。

Turn right / left at the second corner. 2つ目の角を右 / 左に曲がってください。

Turn right / left at the book shop 本屋のところで右 / 左に曲がってください。

☆ 道案内でよく出てくる単語

corner 角

traffic right 信号

intersection 交差点

sign 標識、看板

H29 年度、H30 年度では現在進行形  
と道案内が出題されたよ。

要チェックだね♪



R1年度 模範解答（大阪府のホームページより抜粋）

(1) (I) gave a picture to (her.)

「A(人)にB(もの)をあげる」は[ give 人 もの / give もの to 人 ]の2つを覚えておく。

今回の問題は最後に her がすでに書かれているので、[ give もの to 人 ]を使う。

過去形に気を付けて！



(2) (If) it is sunny (on Saturday, let's go cycling.)

条件を表す副詞節 (if 節・if のついている方の文) では、未来のことも現在形で表す。

「晴れ」を表す言葉は sunny, clear, fine など。まあ基本的には sunny でOK。

if 節の中が「起こっている」ことが前提で、主節(メインの文)が発生する。  
未来を表す will には不確定の感覚があるので「起こっている」こと前提の if 節の中には使えないんだ。



時や条件を表す副詞節  
when 「～するとき」や if 「もし～なら」などがついた文のこと。時や条件を表す副詞節では未来のことも現在形で表す。

(3) (Well, my brother is) as tall as (my sister.)

「AはBと同じくらい～」という表現は [ A is as ~ as B ] を使う。

～の部分には原級 (形容詞・副詞のもとの形) を使う。

どうでもいい話だけど、  
R1年度から絵の雰囲気が  
変わったよね～

H30年度の英作文はさらに答えが  
限定され、ほぼ文法問題になった。  
空欄補充と大差ないよ。  
今年度はどんな形式かな？

